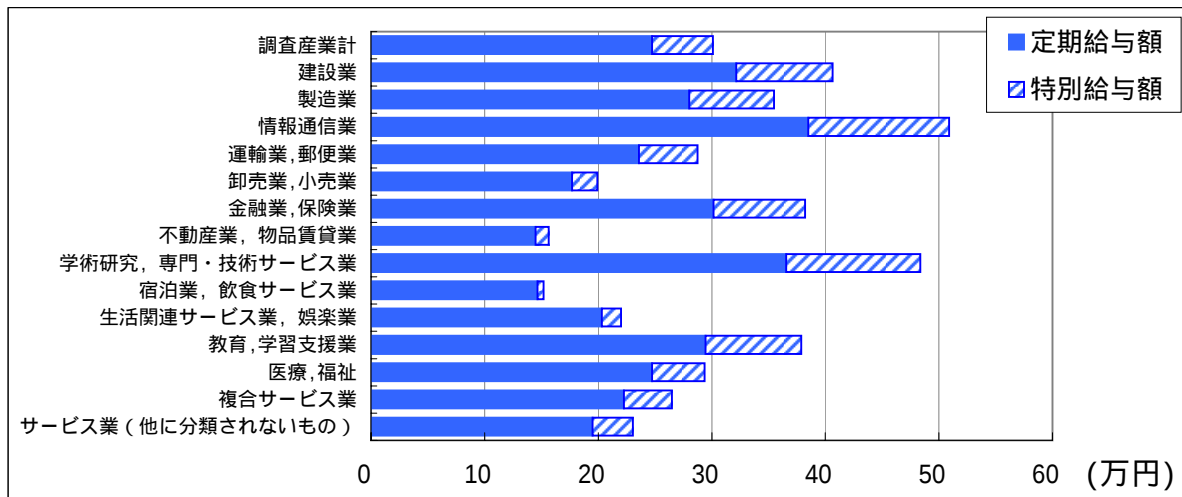


労働諸条件の概況

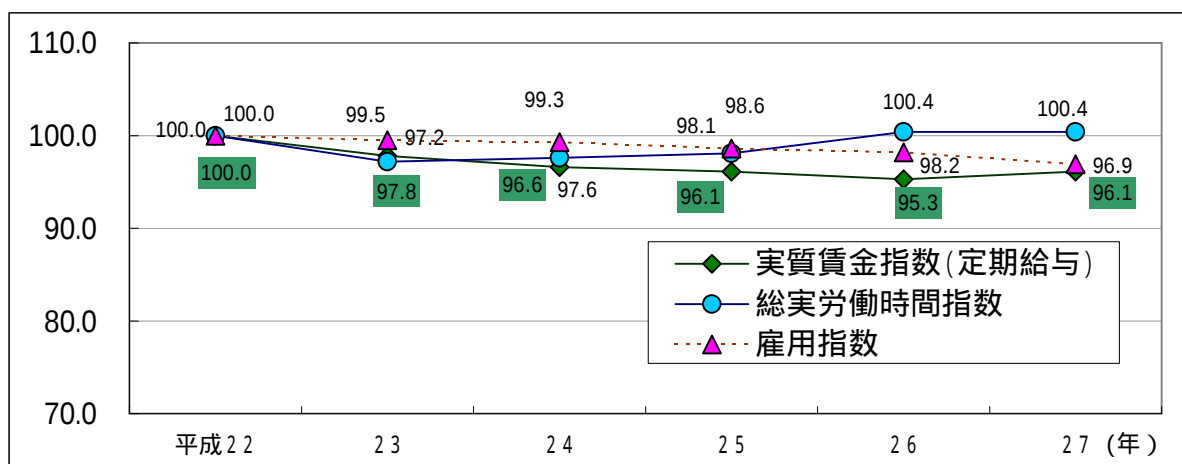
現金給与総額の産業別比較（平成27年平均月額）

30人以上



注 「鉱業, 採石業, 砂利採取業」「電気・ガス・熱供給・水道業」は秘匿のため掲載していない。

指数の推移（調査産業計・平成22年 = 100）



1 賃金

平成27年の一人平均月間現金給与総額は、調査産業計で301,272円となり、前年比は名目3.4%の増、実質で2.2%の増であった。

現金給与総額のうち、きまって支給する給与は247,421円で、前年比は名目2.1%の増、実質で0.8%の増であった。

2 労働時間及び出勤日数

平成27年の一人平均月間総実労働時間は、調査産業計で158.4時間となり、前年と同水準であった。このうち所定内労働時間は145.4時間で前年比は0.3%の減、所定外労働時間は13.0時間で前年比は2.7%の増であった。

なお、一人平均月間出勤日数は20.0日で前年比0.7日の増であった。

3 常用雇用

常用労働者の調査産業計は212,983人であり、前年比は1.3%の減であった。

注) 平成22年1月より平成19年11月に改訂された日本標準産業分類により表章している。
対前年比については、指数をもとに算定しているため、実数値から算定される数値とは必ずしも一致しない。

(県統計課)